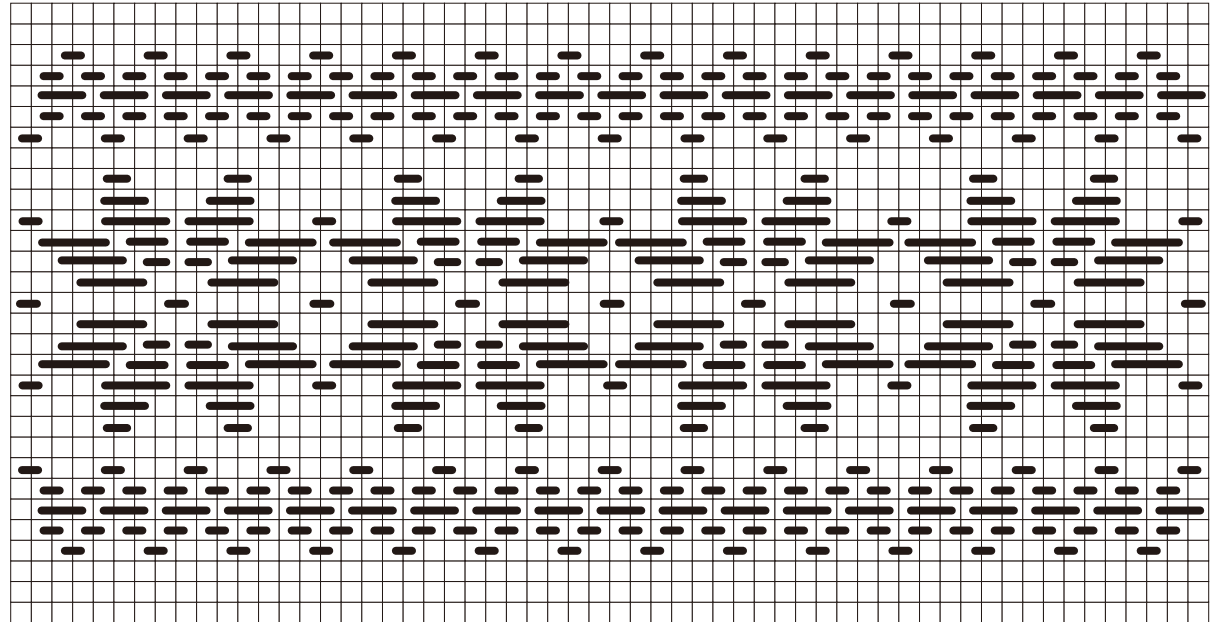


クロスステッチ針で刺す こぎん刺し風刺しゅう図案

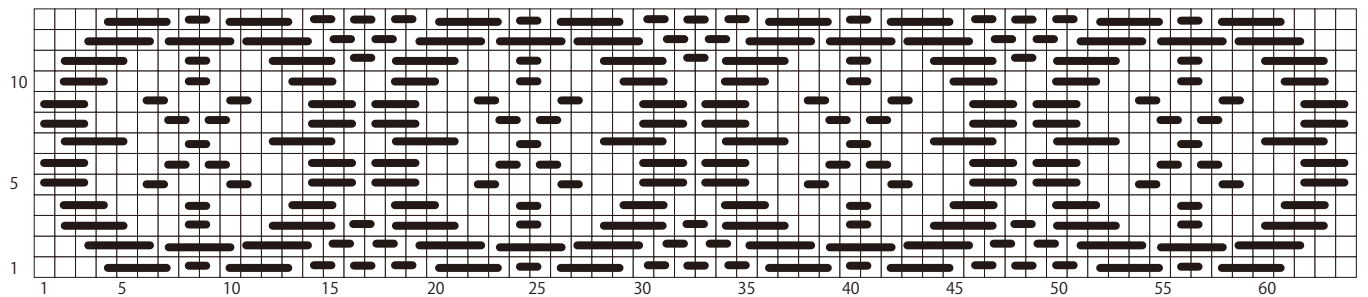


こぎん刺しは青森地方に伝わる刺し子の一種で、縦の織り目を数えながら、横に刺して行く技法です。クロスステッチ針と、刺しゅう布、刺しゅう糸を使って、こぎん風の作品にしました。

●ノルディック模様



●クローバー②



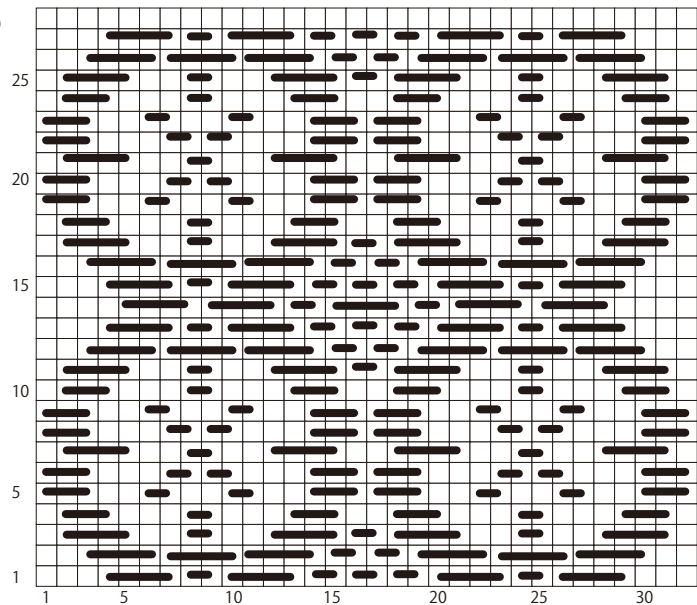
<使用道具>

クロスステッチ針 No.20
その他ソーイング用品

<材料>

生地:刺しゅう布コングレス(オリムパス)、
裏布
25番刺しゅう糸

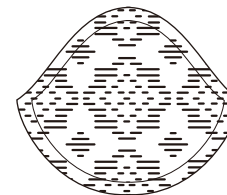
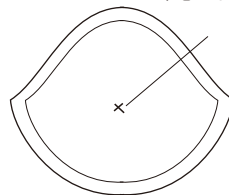
●クローバー①



<作品の作り方>

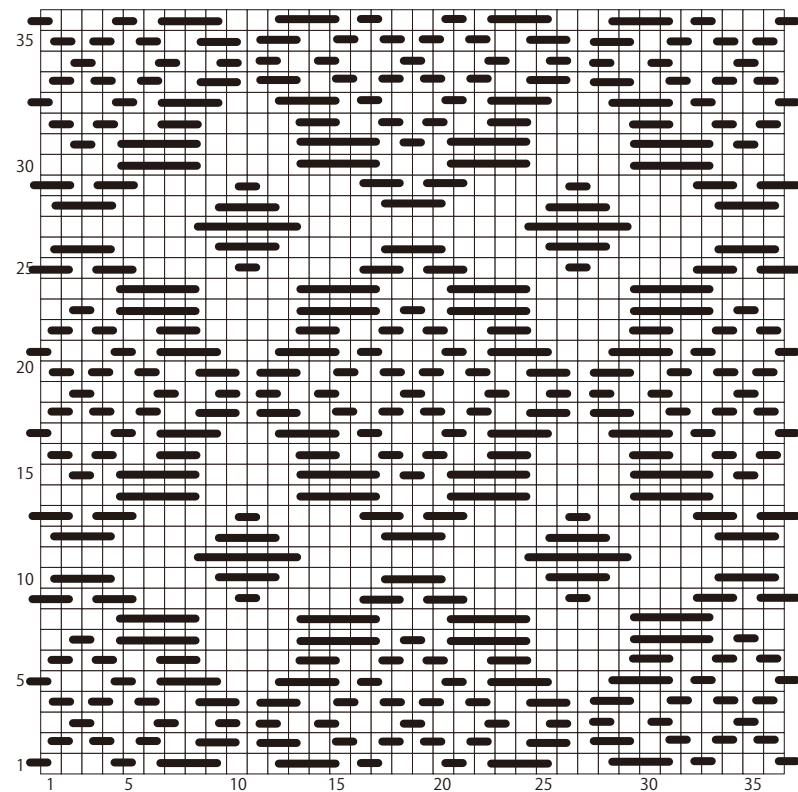
- 1) 作りたいものの型紙を用意し、必要なぬいしろをつけて裁ちます。
 コングレスの布端にはほつれストップ液を塗っておきます。
 (なければ、ほつれないように周りを糸でかがります)
- 2) 刺しゅうをしたい部分の中心を決め、そこが図案の中心になるよう刺していきます。
 25番刺しゅう糸6本取り、クロスステッチ針No.20で
 一目ずつ刺します。ぬいしろ部分も刺します。
 ※糸の強さが一定になるよう、丁寧に刺していきます。
 ※糸がねじれないよう気をつけましょう。

中心から刺します。



ぬいしろまで刺します。

●お花



- 3) 作品に仕立てて完成させます。



68-053
ほつれストップ液

クローバー株式会社

クロスステッチ針で刺す こぎん刺し風刺しゅう図案 2-2